

富士山学校 科学講座（第12・13回）



2月4日(日)

13:30 ~ 16:30 募集定員：100名

会場：via701(静岡県三島市本町7-30)

無料

第12回

富士山測候所を救え～NPOの挑戦～

講師：NPO法人富士山測候所を活用する会理事・事務局長・静岡事務局長

渡辺豊博 氏

2004年に無人化した富士山測候所。気象観測施設としての用途が終了したことによって取り壊しの運命にあります。しかし、この富士山測候所は大気化学、高所医学、植物生態学など様々な分野の研究に最適の施設で日本だけでなく世界に貢献できる施設です。このかけがえのない富士山測候所を保存し活用するためにNPOが立ち上がりました。この天空への挑戦をNPO事務局長が語ります。

第13回

富士山の永久凍土とこけ

講師：増沢武弘 氏（静岡大学教授）

富士山の山頂でこけを見たことがある人はほとんどいないのではないのでしょうか。あの過酷な環境にもかかわらず富士山頂にはたくさんのこけが存在しています。そしてこのこけの存在には富士山の永久凍土が深く関係しているのです。さらにこれらこけや永久凍土の変動を調べることによって地球温暖化の状況までわかってしまうそうです。富士山頂のこけを世界で一番たくさん見ている増沢先生の講演です。

主催：NPO法人富士山測候所を活用する会

< N P O 法人富士山測候所を活用する会の活動目的 > ふたたび誇れる研究・教育の拠点に

富士山は、私たち日本人にとって特別な山です。四季折々に変化するその優美な姿は、人々を魅了し続けています。また、富士山は美しいだけではなく、自然観測の場としても大きな役割をもっています。気象観測業務が終了し 2004 年に無人化された富士山測候所は、環境科学、天文学、宇宙科学、高所医学、スポーツトレーニング学、地震火山学など、幅広い学問領域においてその活用が期待され、さらには、教育・自然体験活動拠点としての利用も考えられています。

そこで、研究者の学術横断的な組織である「富士山高所科学研究会」が中心となり、富士山測候所を、学術研究・教育等の分野において広く開かれた施設として有効活用することを目的として、特定非営利活動法人「富士山測候所を活用する会」を設立しました。

プログラム

13 : 30 ~ 14 : 30

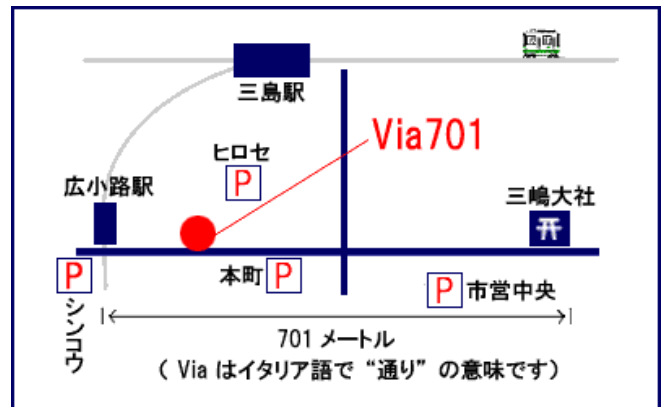
富士山測候所を救え ~ N P O の挑戦 ~

14 : 30 ~ 15 : 00

**N P O 法人富士山測候所を活用する会
静岡事務所開所式**

15 : 00 ~ 16 : 30

富士山の永久凍土とこけ



[via701] 三島市本町 7-30 詳細なご案内は以下のホームページをご覧ください。 <http://www.via701.net/>

申 込 書 (先着順 無料)

・電話、FAX、Eメール、郵送にてお申込みください。
(書式はこだわりません。下の申込書の内容をお知らせください。)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-8-5 麹町 285 ビル 4 階

NPO 法人富士山測候所を活用する会東京事務局

F A X 03-3265-3140 電話 03-3265-8287 eメール / npofuji3776@yahoo.co.jp

フリガナ 申込講座	第 12 . 13 回		
お名前 <small>(団体・学校名等)</small>		お電話	
ご所属		F A X	
ご住所			
E - mail			

本申込書にご記入されました個人情報については、本講座の業務以外で使用することはありません。

ホームページ <http://npo.fuji3776.net/>